

2022年度 関西学生ヨットオープンレガッタ（3月度）

帆走指示書


1. 規則

レース公示のとおりとする

2. 帆走指示書の変更

帆走指示書（以下『指示』という）の変更は、当日の9：00までに場内アナウンス等で指示する。

3. 選手とのコミュニケーション

競技者への通告は、大会 WEB ページ (<http://www.kansaiyachting.com/race.html>) や、オープンチャット「関西学生ヨット連盟」等、オンラインで行われる。 ※陸上本部前に公式掲示板は設置しない。

4. 行動規範

- 4.1 【DP】競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 4.2 【DP】競技者および支援者は、主催団体から提供された、装備の取扱いを、その使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく、実行しなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、陸上本部前に掲揚されるとともに、大会オープンチャットで掲示される。（画像または文字）
- 5.2 D旗による出艇許可（出艇コントロール）は行なわない。
- 5.3 陸上でAP旗が数字旗とともに掲揚される場合がある。

6. レース日程

- 6.1 5レースを予定する。最初のレースの予告信号予定時刻は10：25とする。
- 6.2 1つのレース又は一連のレースが間もなく始まることを注意喚起するために、予告信号を発する少なくとも5分前に音響信号1声とともにオレンジ色旗を掲揚する。
- 6.3 ブリーフィングは行なわない。

クラス	国際470級	国際スナイプ級
旗	470旗	スナイプ旗

7. クラス旗

クラス旗は次のとおりとする。

8. レース・エリア

【添付図A】に、レース・エリアの位置を示す。

A海面	国際470級
B海面	国際スナイプ級

9. コース

- 9.1 【添付図B】の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含む帆走コースを示す。
- 9.2 国際470級、国際スナイプ級の帆走コースを示す文字は【添付図B】コース見取り図のとおりとする。
- 9.3 予告信号以前に、レース委員会信号船に「艇の帆走すべきコース」及び「最初のレグのおおよそのコンパス方位」を掲示する。

10. マーク

- 10.1 上下・ポートフィニッシュ・コース、上下上フィニッシュコースのマーク1、2S及び2Pはオレンジ色の三角錐ブイとする。
- 10.2 スタート・マークは、スタート・ラインのスターボードの端にあるレース委員会信号船とポートの端にある黄色の円筒形ブイとする。

10.3 フィニッシュ・マークは、スターボードの端に位置するレース委員会船とポートの端にあるオレンジ色の円筒形ブイとする。

10.4 指示12に規定する新しいマークは、黄色の円筒形ブイとする。

10.5 マークの数字は無視するものとする。

11. スタート

11.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上に「オレンジ色旗」を掲揚しているポールとマークの間とする。

11.2 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は、審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。これは付則A4とA5を変更している。

11.3 規則30.4の「セール番号」を「識別番号」に置き換える。これは規則30.4を変更している。規則30.4に基づくレース委員会による掲示は、レース委員会信号船のスターン掲示板に行われる。

11.4 ゼネラル・リコールの際、艇に速やかに知らせるため、レース委員会信号船以外のレース委員会船にも「第1代表旗」を掲揚する場合がある。ただし、レース委員会信号船以外の当該レース委員会船が行う「第1代表旗」の掲揚・降下については、規則レース信号「予告信号は、降下の1分後に発する」の意味を持たないものとし、また、音響の有無も無視されるものとする。これは規則レース信号及び規則29.2を変更している。

12. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマークを設置またはフィニッシュ・ラインを移動し、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13. フィニッシュ

13.1 フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるフィニッシュ・マーク上に青色旗を掲揚しているポールと、ポートの端のフィニッシュ・マークのコース側との間とする。

13.2 レース委員会は、フィニッシュ記録作業補助のためにフィニッシュ・ライン外側にレース委員会船を配置することがある。

14. コースの短縮又は中止

14.1 レース委員会は規則32.1以外に、レースの公正性に影響を及ぼすと考えられる大きな風向の変化・風速低下が発生した場合、コース短縮または中止することができる。この項に基づきレース委員会がレースを継続又は中止したことについて、艇による抗議又は救済の要求の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。

14.2 スタート信号後にレースを中止する場合、艇に速やかに知らせるため、レース委員会信号船以外のレース委員会船にも「N旗」「H旗上にN旗」或いは「A旗上にN旗」を掲揚することがある。但し、レース委員会信号船以外の当該レース委員会船が行う「N旗」の掲揚・降下については、規則レース信号「予告信号は、降下の1分後に発する」の意味は持たないものとし、また、音響の有無も無視されるものとする。これは規則レース信号および規則32.1を変更している。

15. タイム・リミットとターゲット・タイム

15.1 タイム・リミットとフィニッシュ・ウィンドウ及びターゲット・タイムは次のとおりとする。

クラス	タイム・リミット	マーク1タイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
国際470級	70分	20分	10分	40分
国際スナイプ級	70分	20分	10分	40分

15.2 タイムリミット内に1艇もフィニッシュしなかった場合、またマーク1タイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合、レース委員会はそのレースを中止する。

この項は規則32.1を変更している。ターゲット・タイムどおりにならなくても救済の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。

15.3 フィニッシュ・ウィンドウは、最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、艇のフィニッシュが認められる時間である。フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアせず、ペ

ナルティーを課されず、または救済を与えられなかった艇は、審問無しに『フィニッシュしなかった (DNF)』と記録される。これは、RRS 35、A4、A5を変更している。



16. 審問要求





- 16.1 審問要求書はプロテスト委員会事務局で入手できる。「交付場所」は、当日の天候や諸状況を鑑み、可能な限り密にならない場所を当日指定する。抗議、救済要求と審問の再開請求は適切な時間内にプロテスト委員会事務局前に設置された審問要求書投函箱に投函しなければならない。
- 16.2 抗議・救済要求締切時刻は、その日の当該クラスの最終レース終了後、又はレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。この時刻は大会 LINE オープンチャットで各大学に通知する。
- 16.3 審問の場所及び時刻、抗議の当事者又は証人として指名された者を競技者に知らせるため、抗議締切り時刻後30分以内に大会 LINE オープンチャットへの掲示等で各大学に通知する。
- 16.4 付則Pに基づく規則42違反に対するペナルティーを課された艇のリストは、レース終了後に大会 LINE オープンチャットへの掲示等で各大学に通知する。
- 16.5 規則77、付則G、レース公示の違反は艇による抗議の根拠とはならない。この項は規則60.1(a)を変更している。
- 16.6 審問再開の要求は、通告後20分以内にプロテスト委員会にオンライン等でその旨を伝え、その後の指示を受けることとする。この項は規則66を変更している。


17. 得点


レース公示のとおりとする。

18. 【NP】【SP】安全規定

- 18.1 本大会、選手、監督・コーチ、運営スタッフ等、大会に関わる全ての者は、「兵庫県新型コロナ追跡システム」に登録し、毎朝「健康状態チェックシート」「大会会場来場者の体調確認済み証明書」を作成し、以下の通り報告すること。
 - ①健康状態チェックシート（提出方法：大会会場に来場する全ての者が各大学代表者に提出すること。）
 - ②大会来場者の体調確認済み証明書（提出方法：各大学代表者が、陸上本部窓口の書類投函箱投函すること。）
- 18.2 本大会は、「受付登録」はオープンチャット「関西学生ヨット連盟」のGoogleフォームより行う。受付登録のみ各大学代表者が一括で行うことができる。また、「チェックアウト」「チェックイン」と「リタイア報告」を、オープンチャット「関西学生ヨット連盟」LINE投票で、各艇のヘルムスマンが行う。（支援艇は艇の責任者が行う。）
- 18.3 受付登録


大会初日の8:00から9:50にオープンチャット「関西学生ヨット連盟」Googleフォーム「受付登録」から当該項目を選択し、送信しなければならない。受付登録は各大学代表者が一括で行うことができる。※同じ大学等でセールナンバーが同一にならないようにすること。
- 18.4 チェックアウトとチェックイン
 - (1) レースに参加しようとする競技者（各艇のヘルムスマン）及び支援艇（責任者）は、8:30~9:50までにオープンチャット「関西学生ヨット連盟」LINE投票「チェックアウト」から当該項目を選択し投票しなければならない。また、レースに参加（出艇）しない艇（各艇のヘルムスマン）及び支援艇（責任者）は、8:30~9:50までにオープンチャット「関西学生ヨット連盟」LINE投票「チェックアウト」から「DNC」を選択し投票しなければならない。この場合、大学旗代表者などによる代理投票を可とする。
 - (2) 帰着した艇の艇長（各艇のヘルムスマン）及び支援艇（責任者）は、帰着後速やか（出来るだけ早い機会）に、また、その日の最終レース終了後、またはレース委員会が「本日これ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から45分以内にオープンチャット「関西学生ヨット連盟」LINE投票「チェックイン」から、該当項目を選択し投票しなければならない。
 - (3) 海上でリタイアした艇は、実行可能であればレースエリアを離れる前に、レース委員会船もしくはプロテスト委員会船にその旨を伝えること。また、帰着後速やかに競技者は陸上本部に口頭でその旨を伝

え、S I 17. 4 (2) の投票を行い、オープンチャット「関西学生ヨット連盟」 L I N E 投票「RET」からリタイアしたレースを選択し投票しなければならない。

- (4) 一度ハーバーに帰着した艇、S I 17. 4 (2) または (3) の手続きを行なった艇が再度レースに参加 (出艇) しようとする場合、競技者もしくは支援者は陸上本部に口頭でその旨を伝え、S I 17. 4 (3) の投票を取り消し、オープンチャット「関西学生ヨット連盟」 L I N E 投票「再チェックアウト」から該当項目を選択し投票しなければならない。また、レース海面到着後、レース委員会船にレース参加の意思を伝えなければならない。

18. 5 レース委員会が『数字旗8』を掲揚した場合、すべてのレース委員会船と支援艇は、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救出しなければならない。

19. 【NP】【DP】乗員の交替

19. 1 水上で乗員を交代する場合は、最初の妥当な機会にオープンチャット「関西学生ヨット連盟」 L I N E により変更内容を送信しなければならない。ただし、送信できない場合は、レース艇若しくは支援艇よりレース委員会信号船に口頭で伝えなければならない。陸上で乗員を変更する場合は、その旨を記録部に口頭で伝えた後に出艇しなければならない。
19. 2 乗員を交替した艇は、その日の抗議締切時刻までに、『乗員名簿・変更届』をオンラインもしくは投函方式にてレース委員会に提出しなければならない。

20. 【NP】【DP】装備の交換

20. 1 損傷又は紛失した装備を交換した場合は、最初の妥当な機会にレース委員会信号船にその旨を報告しなければならない。
20. 2 水上においてメインセールの交換を行なった場合、艇のバウナンバー以外の識別番号を貼付けていてはならない。

21. 【NP】【DP】装備と計測のチェック

21. 1 艇または装備は、クラス規則、レース公示および帆走指示書に適合しているか、いつでも検査されることがある。
21. 2 レース委員会により指定された艇は、検査のために直ちに水上・陸上の指定されたエリア・場所に向かう、もしくは艇を持ち込まなければならない。

22. 運営艇の識別

22. 1 国際470級のレース委員会船には、「白地に赤字でRC」、国際スナイプ級のレース委員会船には、「白地に赤字でRC」と記載した識別旗と「F旗」を掲揚している。プロテスト委員会船は、「白地に赤字でJ」と記載した識別旗を掲揚している。
22. 2 紛失等による運営艇の識別旗の非掲揚は、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。

23. 【NP】【DP】支援艇

23. 1 支援艇の『出艇申告』はS I 18. 4 (1) のとおり行うものとする。
陸上で待機の支援艇が実際に出艇する場合は、陸上本部へ口頭で出艇予定時刻を伝えた後に、オープンチャット「関西学生ヨット連盟」L I N E 投票「チェックアウト」から該当項目を選択し投票し、出艇しなければならない。
23. 2 支援艇の帰着申告はS I 18. 4 (2) のとおり行うものとする。ただし両クラス全てのレースが終了するまでにレース海面を離れる場合は、その旨をレース委員会船に報告するものとし、S I 18. 4 (2) の投票を行わなければならない。
23. 3 支援艇は、水上にいる間、大会本部で貸与する識別旗「黄緑色旗」を目視ができるよう掲揚しなければならない。
23. 4 支援艇はレース中か否かにかかわらず、常に一般船舶の動きに目を配り、一般船舶の航行を妨げてはならない。
23. 5 支援艇は、艇、レース委員会船及びプロテスト委員会船を妨げてはならない。又レース中の艇に引き波の影響を与えるような航行をしてはならない。

- 23.6 支援艇は、最初にスタートするクラスの予告信号の時刻から、全ての艇がフィニッシュするか若しくはリタイアするか又はレース委員会が延期、ゼネラル・リコール若しくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。又スタート・ラインの延長線上にはならない。(【添付図C】参照のこと。)
- 23.7 支援艇は、レース委員会及びプロテスト委員会の無線通信を傍受してはならない。
- 23.8 支援艇は、ハーバー内に於いては、できる限り引き波を立てないようにデッドスローで航行しなければならない。
- 23.9 レース委員会船に『数字旗8』が掲揚された場合、『支援艇は、レースをしているエリアを含む全エリアに於いて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。』ことを意味する。
この信号はレース中であっても発せられることがある。この場合、指示23.5、23.6は適用しない。
- 23.10 支援艇は、関与するチームの艇が帆走不能となり、陸上に帰着する必要が生じた場合は、当該艇の陸上帰着を責任を持ってサポートしなければならない。
- 23.11 支援艇のドライバーは、海上ではキルコードを着用しなければならない。

24. 【NP】【DP】ごみの処分

ごみは支援艇または大会運営船に渡してもよい。

25. 賞

レース公示の通りとする。

25. 責任の否認

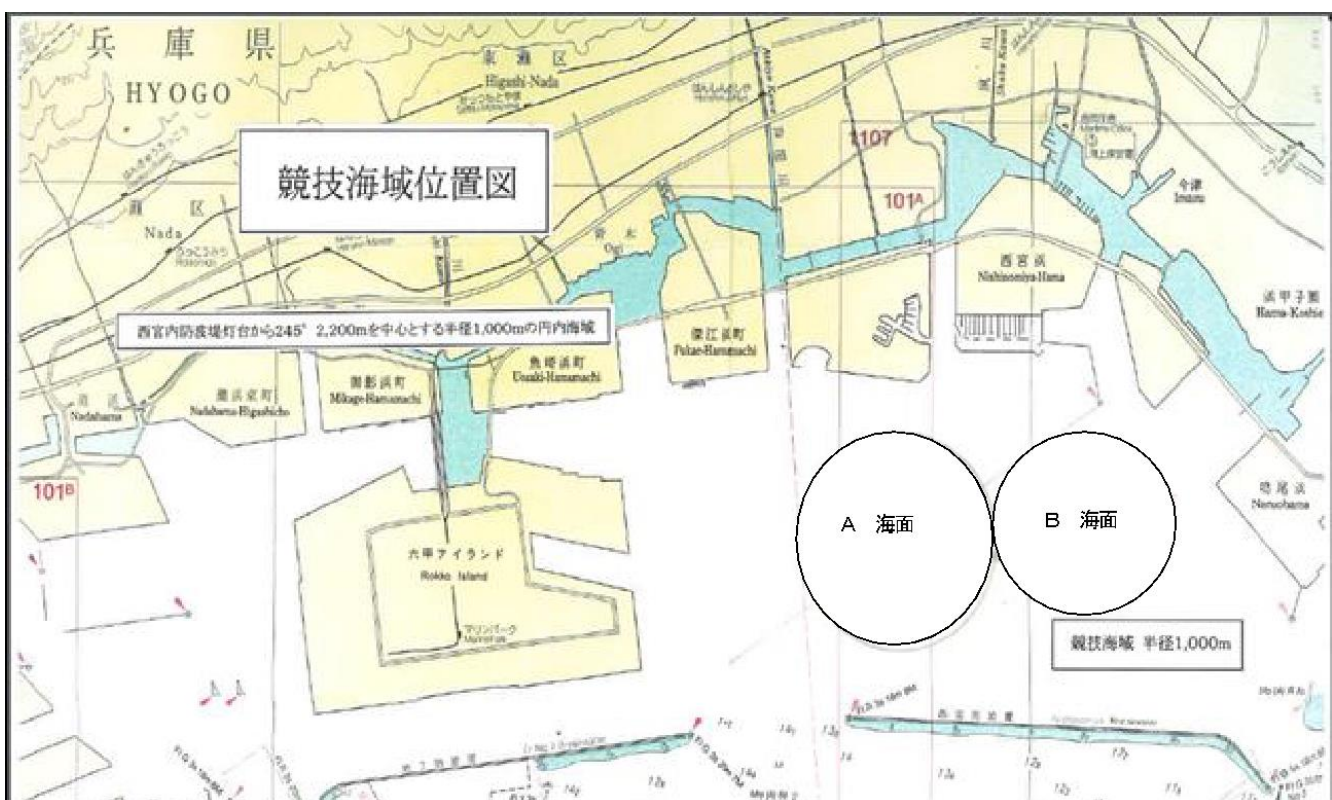
この大会の競技者、監督、コーチ、サポートメンバーは、完全に自己の責任でこの大会に参加する。規則4「レースをすることの決定」参照。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物理的損傷又は人身傷害、新型コロナウイルス感染、もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

26. 【DP】【NP】新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、競技者は本大会にて利用している「兵庫県新型コロナウイルス追跡システム」の登録を完了していなければならない。登録のためのQRコードはレース公示に掲載している。

以上

【添付図A】

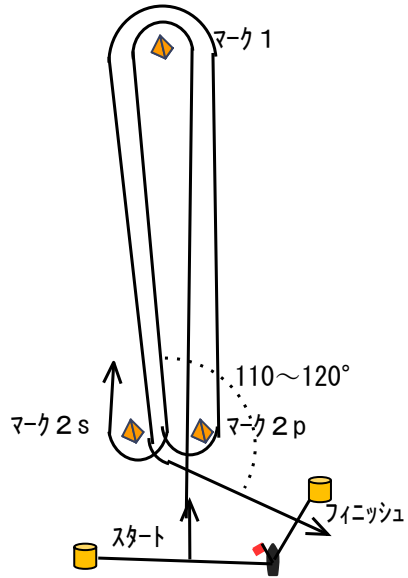


【添付図B】

コース見取り図〔上下・ポートフィニッシュコース〕

LR2: スタート-1-2s/2p-1-2p-フィニッシュ

LR3: スタート-1-2s/2p-1-2s/2p-1-2p-フィニッシュ



【添付図C】 SI 22.6に規定する「艇がレースをしているエリア」

※ 全ての支援艇は、レース中、破線の内側に入ってはならない。

